

# 平成 28 年第 1 回北川村議会定例会行政報告

(平成 28 年 3 月 9 日)

おはようございます。平成 28 年第 1 回北川村議会定例会を召集しましたところ、議員各位には公私何かとご多用のなか、ご出席をいただき、本議会定例会が開かれますことを厚くお礼申し上げます。

提案に先立ちまして、行政報告をさせていただきます。

## <地方創生について>

まず、昨年 12 月 10 日に策定いたしました「北川村まち・ひと・しごと創生総合戦略」につきましては、本年 1 月から 2 月にかけて村内 15 ヶ所で「村の将来を語らう座談会」を開催し、収入を得られる産業の構築と生活していくための環境整備を柱とした戦略の内容をご説明させていただきました。

この座談会には、あわせて 119 名の村民の皆様にご参加をいただき、ゆずの振興や子育て支援、移動手段の確保など、様々なご意見をいただきました。

いただきましたご意見を踏まえ、今年度内には戦略を具体化していくための実行計画を策定することとしております。また、早期に実行が可能な施策は平成 28 年度の当初予算案に計上をいたしました。

今後は、将来の北川村の目指すべき姿として戦略に掲げました「千人の家族が子どもを育むゆず王国北川村」を実現するため、オール北川村で地方創生の取組みを推進してまいります。

地方創生の取組の一環として、平成 28 年度から戦略の目標期間である平成 31 年度まで、保育料の原則無料化を試行実施した

いと考えております。子ども・子育て支援事業計画の策定段階における保護者ニーズとして「子育てに伴う経済的支援の充実」を求める意見が最も多かったことも考慮しております。

あわせて、子どもたちの個性を生かした保育の質の向上と、保護者の仕事と育児の両立を支援する保育の量の確保を図るなど、若者の移住・定住を促進する観点からも、総合的な少子化対策の一つとして、誰もが安心して子どもを産み、育てていける環境を整備してまいります。

### <災害復旧について>

次に、昨年7月に襲来した台風11号により被災した箇所の災害復旧工事につきましては、順次入札を行っており、現在林道3件、農業施設4件の契約が完了いたしました。県が管理する河川堤防の復旧後に着手を予定している工事を除く5件につきましても、3月末までに入札を行う予定であり、今後緊急度を考慮しながら、順次工事に着手してまいります。

また、通行止めとなっておりました村道東岸線和田地区の道路災害箇所につきましては、昨年12月末に工事が完成し、一般車両の通行が可能となっており、村道東岸線柏木地区の道路災害箇所と合わせまして2件の工事が完成しております。

なお、平成26年8月の台風11号により被災した施設につきましては、県管理である河川堤防の復旧後に着手予定の農業施設2箇所を除く34件は、3月末に完成の予定です。

このほか主要な事業について報告いたします。

### <防災・地震対策について>

村が避難施設に指定しています各地区集会所の耐震化は、本年度に二タ又及び久江ノ上集会所の耐震改修工事が完了し、全ての

避難所の耐震化が完了しました。

一方、個人住宅の耐震化に関する本年度の実績見込みは、耐震診断18件（全体計画における実施率28.2%）、耐震設計20件（同8.9%）、改修工事18件（同8.2%）となっております。今後は県の支援策とも連動しつつ、各戸訪問や広報等を強化し、更なる住宅の耐震化に努めてまいりたいと考えております。

### <代替バスについて>

次に、代替バスの運行につきましては、これまでも行政座談会等で要望がありましたダイヤ改正を行うこととしておりますが、抜本的に見直すためには、運転手の増員が必要であることから、4月1日からは現状の運転手で対応が可能な見直しを行い、平成28年度中に運転手の増員とあわせ、村民の皆様の移動手段を確保するという観点から、福祉バスあるいは更なるダイヤ改正の検討を引き続き行い、住み慣れた地域で暮らせるサービスの拡充を行ってまいります。

### <ふるさときたがわ寄附金について>

ふるさと寄附金につきましては、返礼品の商品企画や手配、発送を担っていただく観光協会の職員をようやく2月に1名増員することができました。また、インターネット上でのクレジットカード決済を可能とするための申請を2月に済ませております。

今後、周辺の市町村の動向も参考に、まずは寄附目標額1,800万円を目指し、ホームページによる情報発信を強化するとともに、村の特産品を活用した返礼品を選定してまいります。

### <保健福祉関係について>

保健福祉関係では、住民の方々の健康を守るために特定健診の受診向上に向けて取り組んでいるところですが、受診率は2月調

査分で40.59%となっています。

現在、健診を受けていない方に対して、病院で受診できる個別健診を受診していただけるよう、職員による個別勧奨を実施しており、一人でも多くの方に受診していただき、前年度の受診率を上回るように取り組んでいるところです。

また、健診結果により生活習慣病の指導対象となった方に対する保健指導は、2月時点で面談等による指導16件、服薬に関する情報提供28件、その他健康に関する情報提供79件となっています。

保健指導は、病気の予防や健康維持に重要な役割を担っていますので、平成28年度は看護師を公募し、さらにきめ細かい保健指導に努める体制を整えてまいります。

消費税率の引き上げによる所得の低い方々への負担軽減措置として給付する臨時福祉給付金につきましては、2月末で支給対象世帯299世帯に対し、256世帯85.6%の世帯に給付を行いました。

災害時の対策として、2月に福祉避難所用の簡易ベッドなどの備品を備蓄するプレハブ倉庫を保健センター南側に2棟設置しました。

### <第1次産業の振興について>

ゆずの平成27年産出荷量は、農協扱いで1,429 t（前年対比112%）、果汁の販売状況については、平成27年産は予約で完売する見込みと聞いております。また、新たな取引として、種から採るオイルを活用した化粧品の商品化、販売が決まり、3月10日に企業に産地を訪問していただくこととなっております。

ゆずの需要は高く、産地は安定供給に取り組むことにより販売先との信頼関係を築き、それが所得の安定にもつながると考えています。

このため、冒頭にもご報告いたしました地方創生総合戦略にて、ゆずの振興を村が生き残っていくための最優先課題に掲げ

ております。今後、生産者の所得の向上や新たな担い手を確保するために、農地の所有者等のご協力をいただきながら基盤整備を実施し、村内のゆず園の集積・流動化を進めるとともに、新植や改植を進めるための苗木の確保に向けた支援策を講じてまいりたい、と考えております。

### <観光の振興について>

春の観光シーズンに向け、3月6日に観光協会主催による北川村観光びらきを「モネの庭」マルモッタンを会場に開催いたしました。当日は、村内の商店、加工グループ、企業等にご協力いただき、北川村の特産品で約1,500人の来場者をもてなすことが出来ました。誠にありがとうございました。

モネの庭の平成27年2月から28年1月までの入園者数は66,533人となり、目標としておりました65,000人を達成することが出来ました。特に、「高知家まるごと東部博」のスペシャルイベントとして昨年12月に開催した「光のフェスタinモネの庭」では、12日間の夜間営業中に、ライトアップした幻想的な庭園を楽しみに3,477人の来園者がありました。

次に、北川村温泉の増改築工事につきましては、昨年3回実施した入札が全て不落となったことを受け、施工のあり方を様々な角度から検討した結果、鉄筋コンクリート構造から木造構造に設計を変更することとしました。

平成28年度のできるだけ早い時期に変更の設計を行い、早期に着工ができるよう努めてまいります。

### <移住促進について>

移住促進につきましては、昨年実施した空き家調査をもとに、南部地区の38戸を対象にした賃借等の意向調査を行いました。その結果、売却または貸付を希望された方が11戸あり、そのう

ち耐震性等の調査を7戸で実施しました。今後、不動産鑑定を行い、移住促進用住宅の確保を具体的に進めてまいります。

### <野友団地での定住促進について>

定住促進施策として、国の補助事業である地域優良賃貸住宅制度を活用した野友地区での住宅整備は、世帯用2戸、単身用3戸が新たに3月末までに完成し、その後入居者の募集を行うこととしております。

### <教育関係について>

(学力向上について)

平成27年度高知県学力定着状況調査《1月12日実施・小学校4年生(国語、算数)、小学校5年生(国語、算数、理科)、中学校1,2年生(国語、社会、数学、理科、英語)》の結果が2月25日に公表されました。

これまでの学力の定着状況の把握・分析結果を活かした授業改善や習熟学習等の取組により、大きな伸びを見せ全教科が高知県平均を上回った学年がある一方で、改善は見られるものの厳しい結果となった学年もあります。全ての子どもが「分かる」、「できる」といったユニバーサルデザインの視点に立った授業改善が実を結びつつあります。

引き続き、各校の学校経営計画を基本として、組織的に課題に取り組む「チーム学校」の仕組みを構築し、少人数だからこそできる学習指導や支援、放課後の加力学習等を徹底させ、一層の学力定着・向上に努めてまいります。

(中岡慎太郎について)

中岡慎太郎館の今年度の入館者数については、東部博の開催、大河ドラマ「花燃ゆ」の放映に合わせた企画展開催の効果もあり、平成28年2月末現在、6,812人と昨年(5,511人)を1,301人

上回っています。

昨年12月11日から今年の2月15日まで、慎太郎館の冬季企画展「北川村の文化財－神社仏閣を中心に－」を開催しました。妙楽寺、松林寺など村内の寺院に残る仏像やきょうもん経文、慎太郎館が所蔵する宗教史関係の古文書など26点を展示しました。また、関連企画として開催した講演会では、講師のおかもとけいすけ岡本桂典氏〈高知県立歴史民俗資料館副館長〉から北川村の磨崖仏は村の新たな観光資源として活用できるだけの価値がある、というお話も頂きました。

県では、平成29年3月から約2年間、歴史を中心とした博覧会を企画しており、慎太郎館も博覧会の地域会場となる予定です。大政奉還150周年と明治維新150周年にあわせて、県全域で行われるこの博覧会を契機に、村としても中岡慎太郎を中心とした歴史・文化資源をしっかりと磨き上げ、誘客につなげてまいりたい、と考えています。

#### (慎太郎マラソンについて)

本年5月15日に開催を予定しております「第6回 中岡慎太郎マラソン大会」につきましましては、1月25日に第1回の実行委員会を開催し、北川村体育会長を新しく実行委員長に選任したほか、地域の代表者も実行委員に加わっていただき、村全体で取り組む大会として新たな体制のもと準備を進めております。

2月23日からランナーの募集を開始し、一般の部は2月25日に定員を超過し締め切りました。小中学生の部は引き続き募集中であります。

大会の成功に向けまして、ボランティアの確保を中心に住民説明会の開催、協賛企業の募集等、地域全体で大会を盛り上げていけるよう準備を進めてまいりますので、ご理解、ご協力のほど宜しくお願い致します。

## <中芸広域連合関係について>

### (戸籍共同業務について)

昨年より進めてまいりました戸籍システムの管理運用に関する事務の共同処理につきましては、昨年12月定例会におきまして、中芸広域連合の規約変更について議会の承認をいただき、その後、高知県知事の許可を受けました。

今後は、平成28年12月からのシステム利用開始を目指しまして、戸籍システムの構築及び町村間の調整を行っていくこととなっております。

### (消防救急業務について)

消防業務であります。本年度1月末現在の管内における火災は7件(安田町5件、奈半利町2件)で、前年度同期に比べ3件の増となっております。

これから春の火災が発生しやすい季節を迎えることから、消防職員による広報車、防災行政無線等での防火の呼びかけや、各消防団による防火パレードを行い、火災予防の啓発に一層努めることとしております。

救急業務につきましては、1月末現在、出場件数637件、搬送人員605人で、前年同期に比べ、件数で67件、人員で47人の大幅な増となっております。

### (介護保険業務)

介護保険事業の運営状況は、12月末要介護(要支援)認定者数は921人(うち、居宅サービス利用者数は481人、地域密着型サービス利用者数は73人、施設サービス利用者数は190人)となっております。

要介護認定者数の増加に伴い、地域密着型サービス利用者が8人減少する一方、居宅サービス利用者は49人、施設サービス利用者は17人増加しています。



給付費の状況では、月平均 105,296 千円（前年度同期月平均 102,846 千円）で推移しており、対前年度比 2.38%増、対計画比（月平均 109,392 千円）3.74%減で推移しています。

また、地域包括支援センターが行っている予防給付のケアマネジメント業務につきましては、12 月末現在で要支援認定者は 186 人（うち、介護予防支援計画作成件数は 84 件）となっています。

#### （火葬場業務について）

火葬場業務につきましては、1 月末現在で前年度同期と比較して 7 件増加し、157 件となっております。

その内訳は、管内が 139 件（安田町 28 件、田野町 26 件、奈半利町 52 件、北川村 27 件、馬路村 6 件）、管外が 18 件となっており、約 11.5%が管外からの利用となっています。

#### （保健福祉業務について）

障害保健福祉につきましては、11 月から開始しておりました“働く”をテーマにした「地域サポーター養成講座」が終了し、地域の方々のご協力をいただきながら農作業等の作業体験について、それぞれの立場から報告をいただきました。

障がい者にとって良い体験になっていることはもちろん、協力いただいた地域の方々にも、彼らの個性や強みを理解することの必要性を感じてもらうことができました。

障がい者自立支援協議会子ども支援部会につきましては、地域の教育力の重要性を改めて確認し、昨年末より月 2 回程度、地域の身近な支援機関である田野病院小児科及びリハビリテーション部、相談事業所ぷらうらんどを交え、就学前の児童について、教育・医療・福祉分野の代表者による事例検討会を開催しており、今後、新たな取組につなげていきたいと考えております。

## <安芸広域市町村圏事務組合関係について>

(広域観光について)

昨年、4月29日から12月23日まで開催された「高知家まるごと東部博」による観光施設のPRや、野外イベント等の開催により、東部地域の観光施設全体の集客人員は約71万人となり、平成26年度対比で約21%の増員となりました。北川村では、モネの庭及び中岡慎太郎館についても入込客の増につながりました。

東部博を主催していた「高知県東部地域博覧会推進協議会」は解散となりましたが、今後の東部地域の観光振興を継続し、観光資源を活用した交流人口の拡大を図るため、「一般社団法人高知県東部観光協議会」が2月25日に発足しました。

## (工事発注等の状況)

本年度の工事関係（工事・委託業務）発注状況につきましては、3月1日時点で、

区 分	総件数	発注件数	完了件数	発注率	完了率
・繰越明許費	23件	23件	17件	100.0%	73.9%
・現年予算	36件	28件	3件	77.8%	16.7%

昨年度からの繰越事業は3月末にすべて完成の予定です。

災害復旧事業など今議会に繰越明許費に計上している事業につきましては、今後も引き続き早期完成に向けて事業の進捗を図ってまいります。

## (終わりに)

本定例会には、平成28年度北川村一般会計当初予算など21議案、承認2件を提出させていただいておりますので、何卒、ご審議のうえ、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。